

令和８年度 第５回理事会

日 時：令和８年８月７日（金）15:30～

場 所：林木育種センター（日立市）大会議室

I. 報 告

1. 障害者の雇用状況について（報告）〔総務部〕
2. 災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
〔森林保険センター〕

II. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林研究・整備機構が広報普及した主なプレスリリース等について

I - 1

理 事 会 資 料

令和 8 年 8 月 7 日

総 務 部

障害者の雇用状況について（報告）

「障害者の雇用の促進等に関する法律」において、国・地方公共団体の事業主は、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率（法定雇用率）以上になるよう義務づけられている。

当機構（国・地方公共団体等に分類）の法定雇用率は 2.8 % であるのに対し、本年 6 月 1 日時点（法に基づく報告日）での雇用率は 3.38 %（前年度は 3.40 %）となっている。

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について

- ・ 令和8年7月滋賀県甲賀市の土砂崩れに係る災害
- ・ 令和8年熊本地震に係る災害

- 上記災害により、災害救助法の適用を受けた区域を対象に、森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を森林保険業務の委託先である道府県森林組合連合会等に発出するとともに、森林保険センターホームページにも掲載。
- 措置内容は、
 - ①保険契約者が保険期間満了の30日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、森林保険センターが猶予措置を決定した日から6月を経過する日の属する月の最終営業日までに申出があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予する。
 - ②猶予期間内に保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとする。

災害救助法の適用による森林保険のお手続き猶予措置状況

対象災害等	対象区域 (防災情報のページヘルリンク)	お手続き猶予措置 決定日 (括弧書きは最新の決定日)	お手続き猶予措置 期限	お手続き猶予措置 終了日
令和 8 年熊本地震に係る災害	熊本県の10市10町 1 村	2026/7/29	2027/1/29	
令和 8 年 7 月滋賀県甲賀市の土砂崩れに係る災害	滋賀県の 1 市	2026/7/14	2027/1/29	
令和 8 年 6 月 24 日からの大雨に伴う災害	福岡県の 3 市 1 町、 鹿児島県の 1 市	2026/6/25 (2026/6/29)	2026/12/28	
令和 8 年岩手県大槌町の林野火災に係る災害	岩手県の 1 町	2026/4/24	2026/10/30	
令和 8 年 1 月 21 日からの大雪に係る災害	青森県の 7 市 10 町 4 村、 秋田県の 4 市 2 町 1 村、 山形県の 2 市 6 町 3 村、 新潟県の 4 市	2026/1/30 (2026/2/6)	2026/7/31	
令和 7 年青森県東方沖を震源とする地震に伴う災害	青森県の 3 市 7 町 2 村 岩手県の 5 市 4 町 3 村	2025/12/9	2026/6/30	2026/6/30
令和 7 年 11 月 18 日大分市佐賀関の大規模火災に伴う災害	大分県の 1 市	2025/11/19	2026/5/29	2026/5/30
令和 7 年台風第 22 号に伴う災害	東京都の 7 町村	2025/10/9	2026/4/30	2026/5/1
令和 7 年 9 月 12 日からの大雨に伴う災害	三重県の 1 市	2025/9/16	2026/3/31	2026/4/1
令和 7 年台風第 15 号等に伴う災害	静岡県の 9 市 1 町	2025/9/5 (2025/9/8)	2026/3/31	2026/4/1
令和 7 年 9 月 2 日からの大雨	秋田県の 1 市 1 町 1 村	2025/9/3 (2025/9/17)	2026/3/31	2026/4/1
令和 7 年台風第 12 号に伴う災害	鹿児島県の 1 市	2025/8/29	2026/2/27	2026/2/28
令和 7 年 8 月 20 日からの大雨	秋田県の 1 市	2025/8/21	2026/2/27	2026/2/28
令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨	石川県の 1 市 山口県の 1 市 福岡県の 1 市 熊本県の 6 市 5 町 鹿児島県の 4 市	2025/8/8 (2025/9/8)	2026/2/27	2026/2/28
令和 7 年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波	北海道の 69 市町村 青森県の 9 市町村 岩手県の 12 市町村 宮城県の 15 市町 福島県の 3 市町 静岡県の 8 市町 三重県の 2 市	2025/7/30	2026/1/30	2026/1/31
令和 7 年台風第 8 号に伴う災害	沖縄県の 2 村	2025/7/30	2026/1/30	2026/1/31
トカラ列島近海を震源とする地震	鹿児島県の 1 村	2025/7/10	2026/1/30	2026/1/31

今後の主な会議・行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名	場 所 等
8月7日	○	○		令和8年度九州森林技術開発協議会	九州森林管理局（熊本市） （主催：九州森林管理局、九州支所）
8月19日～ 20日	○			令和8年度九州地区林業試験研究機関 連絡協議会場所長会議	福岡県農林業総合試験場資源活用研 究センター（福岡県久留米市） （主催：九州地区林業試験研究機関 連絡協議会） （出席：九州支所、九州育種場）
8月20日～ 21日	○			四国林政連絡協議会	ホテル千秋閣（徳島市） （主催：四国森林管理局） （出席：四国支所）
8月21日	○			森林講座「クロストーク：写真で巡る日 本列島の多様な植生」	多摩森林科学園 森の科学館 （東京都八王子市） （主催：森林総合研究所）
9月3日			○	令和8年度森林保険センター統合リス ク管理委員会（外部委員含む）	整備センター（神奈川県川崎市） （主催：森林保険センター）
9月4日	○			令和8年度北海道林業林産試験研究機 関連絡協議会総会	北海道立総合研究機構 森林研究本 部 林産試験場（北海道旭川市） （主催：北海道支所）
9月4日	○			森林経営分野における研究調整会議	森林総合研究所 （共催：林野庁、森林総合研究所）
9月16日～ 17日	○			関西地区林業試験研究機関連絡協議会 第79回総会	KDDI 維新ホール（山口市） （主催：関西地区林業試験研究機関 連絡協議会） （出席：関西支所、四国支所、関西 育種場）
9月28日～ 29日	○			令和8年度林業研究・技術開発推進関 東・中部ブロック会議	中央合同庁舎第4号館 （東京都千代田区） （主催：林野庁、森林総合研究所）

9月30日	○		令和8年度森林総合研究所四国支所公開講演会「デジタル情報を使って森林を読み解く」	高知会館（高知市） （主催：四国支所）
-------	---	--	--	------------------------

主要行事（令和8年7月10日～令和8年8月6日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
7月10日(金)	【共】理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、監事
13日(月) ～15日(水)	【研】北海道支所、北海道育種場視察	理事長
16日(木)	【研】第58回独立行政法人評価制度委員会傍聴	企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
17日(金)	【共】国立研究開発法人審議会第33回林野部会	理事長、各理事、森林保険センター所長
21日(火) ～23日(木)	【研】四国支所、関西育種場視察	理事長
31日(金)	特定母樹等普及促進会議出席	育種事業・森林バイオ担当理事
5日(水)	庁議	理事長

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略

森林研究・整備機構が広報普及した主なプレスリリース等について

○ 前月以降公開済のプレスリリース

	広報タイトル	機関名	概要(ポイント)	URL
1	森の木々の熾烈な競争と共存の謎を解く ーなぜ巨木が独占せず、多様な木々と共存できるのか？ー	京都大学 森林総合研究所 東京大学	・謎であった森の成り立ちのルールを定量的に解明。 ・樹木の成長速度を「光を獲得する効率」と「獲得した光を成長に転換する効率」の2つに分解して評価する新しい手法を開発・適用。 ・樹木の「光獲得」と「光利用」のバランスが変化することが、最終的に異なる大きさの木々が共存する森に移り行く理由であることを、世界で初めて明らかに。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260708/index.html
2	土地利用の変化が生物多様性に与える影響を世界規模で高精度に把握 ーネイチャーフットプリントによるバリューチェーンや投融資先の自然リスク評価を高度化ー	早稲田大学 (株)MS&AD インターリスク総研 森林総合研究所	・将来の土地利用変化による生物多様性への影響を、「被害係数」として、全世界0.25° 四方という高解像度で算定。 ・どの地域でどの程度生物種の絶滅リスクが増加するかを定量的に評価することが可能。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260710/index.html
3	西之島で噴火後初の植物の生育を確認: コケ植物とシダ植物が切り開く海洋島の生態系形成の第一歩	東京都立大学 京都大学 筑波大学 森林総合研究所 (一財)自然環境研究センター	・2013～2020年の大規模噴火により植生が完全に消失した西之島で、噴火後初めて陸上植物の生育を確認。 ・コケ植物1種(ユミダイゴケ)とシダ植物2種(イワヒメワラビ属の1種、タマシダ属の1種)を発見。 ・発見された植物はいずれも孢子による長距離分散能力を持つ先駆的な植物。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260717/index.html
4	リグニン分解細菌を「ものづくり微生物」へ ー木質資源から有用化学品を生産する基盤技術確立ー	長岡技術科学大学 森林総合研究所	・リグニン分解細菌SYK-6株を改良し、安価なグルコースを利用できる性質を付与。 ・改良菌株MK-8は分解能力を維持し、パルプ製造廃液からプラスチック原料PDCを高生産。 ・自然界の細菌を、木質資源から有用化学品を生産する「ものづくり微生物」へ転換。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260723-02/index.html
5	無花粉スギ(MS2タイプ)の候補遺伝子を同定 ー花粉を作らない原因の解明に前進ー	森林総合研究所 新潟大学 基礎生物学研究所 岡山大学	・無花粉スギ(MS2タイプ)の最有力候補遺伝子を同定。 ・花粉形成に働く酵素遺伝子の1塩基変異を発見。 ・DNAマーカーにより幼苗段階でMS2タイプ無花粉スギの選抜が可能に。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260723-01/index.html
6	航空レーザ計測で人工林の混み具合を高精度に評価 ー間伐が必要な林分の抽出を支援する実用的手法を開発ー	森林総合研究所	・航空レーザデータから人工林の混み具合を評価する新手法を開発。 ・間伐が必要な林分を効率的に抽出。 ・日本の民有人工林における森林管理の効率化に貢献。	https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260729/index.html

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	機関名	開催場所・主催等	開催日
1	森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)第16回ウェブ検討会「新たな森林・林業基本計画と森林産業の役割」	森林総合研究所	オンライン開催 (共催:FICoN、森林総合研究所)	7月3日(金)
2	森林講座「花粉を少なく、そしてなくす ―品種改良によるスギ花粉症への対応―」	森林総合研究所	開催場所:多摩森林科学園 森の科学館(東京都八王子市) 主催等:森林総合研究所	7月16日(木)
3	令和8年度第1回森林教室 「昆虫ひょうほんをつくろう!」	関西支所	開催場所:関西支所(京都市) 主催等:関西支所	7月25日(土)
4	2026年度 森林総合研究所 夏の一般公開	森林総合研究所	開催場所:森林総合研究所(つくば市) 主催等:森林総合研究所	7月29日(水)